

川崎地域連合大師地区連合

2025 年度に向けた「政策・制度要求」回答

1. 道路交通

1) 場所：台町バス停（下り線）の整備＜継続＞

現 状：当バス停は、バス停後方の植栽及びガードレールが支障となりお客様の乗降が大変危険且つ不便です。降りる方がいる場合、乗る方が車道に出て乗車しなくてはならないので危険です。

改善策：令和6年2月の回答書の要請項目＜道路交通＞1項にて、まちづくり局交通政策室から「交通環境向上に向け、再度意見を伝える」。交通局自動車部運輸課より、「関係局と協議しましたが、横断防止柵（ガードレール等）の撤去は歩行者等の安全上の観点から困難であるとの結論に至りました。」との回答をいただいていたのですが、競輪場バス停（下り線）、宮前バス停（上り線）は改善されているため、再度検討をお願いしたい。

交通局回答

「台町」停留所（市営埠頭方向）につきましては、従前の回答のとおり、歩行者等の安全性の確保の観点から横断防止柵が設置されているため、撤去することは困難な状況であり、現時点での対応は難しい状況です。引き続き、運転手の声掛けやバスの停車位置の工夫などの運用により、安全かつ円滑な乗降に努めてまいります。

2) 場所：夜光交差点付近の路上駐車＜継続＞

現 状：夜光交差点付近では、路上駐車が多く、慢性的な渋滞が発生している。

改善策：殿町夜光線における路上駐車抑制対策に関する社会実験（令和5年11月9日～令和6年3月8日まで）にて、トラック待機所設置、ラバーポールの仮設等を行い、駐停車抑制効果の検証を進めるとのことでしたが、検証の結果及び結果からの対策について回答いただきたい。

臨海部国際戦略本部回答

令和5年度に実施しました社会実験につきましては、仮設トラック待機所の設置から1か月後に殿町夜光線の路肩にラバーポールを設置したところ、殿町夜光線の路上駐停車が減少し、仮設トラック待機所の利用が増加したことから、仮設待機所への誘導の効果があつたと推測されますが、依然として路上駐停車が確認されておりました。今後につきましては、今年度を実施する社会実験において、路上駐停車の発生要因等の把握を行うとともに、他地区における著しい発生状況等を注視した

上で、路肩へのラバーポール設置について交通管理者や道路管理者と協議調整を行ってまいりたいと考えております。

また、トラック待機所につきましては、民間活力の導入を基本とした取組を進めてまいります。一層の路上駐停車抑制に向けては、荷主による協力が不可欠なことから、立地企業等が参加する川崎臨海部活性化推進協議会をはじめとする場を通じて、働きかけを行ってまいります。

3) 場所：川崎市営バス（塩浜方面）＜継続＞

現 状：帰宅時間帯は混雑が酷く、数本乗車できないことが多い。

改善策：増便は、運航計画の見直しが必要であり、接続バスは導入やバス停改修のコストの課題があるとのことですが、ロングバスの導入による改善をご検討いただきたい。増便や接続バスのコストより抑えられるのではないのでしょうか。

交通局回答

ロングバスの導入につきましては、運行可能な路線に限りがある等の課題があることから、今年度導入の予定はございませんが、今後に向け、導入可能性も含め検討してまいります。

4) 場所：409号線（江川2丁目14番）＜新規＞

現 状：小島新田駅から殿町第三公園入口経由で殿町に抜けて行く歩行者が道路を跨いで首都高速神奈川6号川崎線横の歩道を歩いて貫けている。

改善策：歩道として認知していないのなら、通り抜け禁止の柵等を設置して頂きたい。歩道として通行を許可するなら、安全に渡れるように横断歩道を設置した上で、車が突っ込んで来た場合には逃げ場が無いのでガードレール等の処置をお願いしたい。

道路公園センター回答

国道409号の要請のありました区間は、国土交通省関東地方整備局横浜国道事務所神奈川出張所が所有（管理）者であることから、本市では改善策を講じることはできません。直接、所有（管理）者に要請していただくようお願いいたします。

なお、本市からも当該出張所へ要請内容についてお伝えいたします。

横浜国道事務所神奈川出張所 045-401-4566

5) 場所：409号線（殿町1丁目4番）＜新規＞

現 状：朝の通勤時など409号にて企業送迎バスが車線を1車線塞いでおり、歩道にもバスを待っている人が壁際に並んでいるため、通りづらくなっている。

改善策：車線を塞ぐ路上駐車にならぬよう路線バスのように短時間の停車で済ませるよう運行会社へ指導すると共に、幹線道路を塞がないように殿町1丁目5番と6番間の支道に乘客を乗せる運行時間直前まで待機させるなど、改善いただきたい。

また、409号線沿いの企業送迎バス発着所集約について、早期の運用をお願いしたい。

臨海部国際戦略本部回答

国道409号や殿町夜光線の様々な場所に点在している企業送迎バス乗降場につきましては、道路交通の円滑化や安全の確保、企業送迎バスの乗降環境や乗降場周辺の地域環境の改善を図ることを目的として集約化するため、京浜急行の大師橋駅に近接した国道409号沿いの場所に新たな乗降場を令和5年末に整備したところでございます。

現在、令和6年12月中の当該乗降場の供用開始に向けて、利用する企業等で構成する「国道409号通勤バス連絡協議会」において、乗降場の運用方法等について調整を進めているところでございます。

6) 場所：AOI国際病院前交差点（川崎区田町2丁目9番）＜新規＞

現 状：コンビニや病院、ファミリー向けマンションがあり人通りが多く、子供たちの通学路になっている事に加え、水江町方面から産業道路へ左折する際、付近アパートのコンクリート製の弊があり左折時の見通しが悪く、横断歩道の歩行者巻き込み、接触事故が発生している。また、道路標識等が大型車の接触により破損・変形しており、信号機も度々変形しているが通報によって修理が行われている。

改善策：現状を踏まえ、当該交差点の抜本的な改善をお願いしたい。

道路公園センター回答

要請のありました交差点の現地確認を行いましたので、左折車両へ注意喚起を促すような路面標示等を実施してまいります。

大師区民センター回答

川崎臨港警察署から「検討した結果、抜本的に解決するためには交差点の形状変更や大型車両の進入禁止が考えられますが、新たに土地取得する必要や大型車両への規制について周辺企業へ理解を得る必要があります、対応は困難です。従いまして現在できる対応として、水江町方面から左折する車両が旋回しやすいように産業道路から交差点に進入する車両の停止位置を交差点側から後ろに下げることについて検討します。」との回答がありました。

2. 生活環境

1) 場所：小島新田駅前の歩道＜継続＞

現 状：雨が降ると大きな水たまりができ、それを避けるために人同士が接触する危険がある。

改善策：昨年度、ガタつきの応急処置は実施いただいたものの、雨水は溜まってしまう状況が改善されません。トレンチの場所を入れ替えるなど改善をお願いしたい。

道路公園センター回答

要請箇所において水が溜まる状況を確認いたしましたでの、歩行空間中央部のコンクリート板を敷設し直すなど、水たまりの改善に努めてまいります。